

古代への扉を開く

古代から人びとが生活していた市川市内には多くの遺跡が残っており、発掘調査ではさまざまなものが発見されます。

見つかった出土品は、曾谷6丁目の百合台小学校にある文化財整理室へと運ばれます。ここでは、土器の図面を作成するなど、調査の記録を後世に残すための作業が日々行われています。

今日は、百合台小学校の児童3人が文化財整理室を訪れました。 図373-2202考古博物館



どうして市川市には遺跡が多いの？



考古博物館 埋蔵文化財担当 割田 史

「遺跡」とは、昔の人が活動した場所の跡のことです。市川市では、約2万5千年前から人びとが住み始めました。長い歴史の中でたくさんの人びとが活動し、その範囲を広げていったので、さまざまな時代の遺跡が市内にも数多くあります。



土屋 陽太さん

曾谷貝塚に行くと、今でも地面に貝殻が広がっているし、土器が何かのかけらが出ていることもあったよ。

今から約2万年前、海岸線は現在の東京湾の入り口付近にありましたが、地球の温暖化によって、約7千年前に現在のJR総武線付近に移動してきました。すると、海の幸に魅力を感じた人々が北部の台地上に住み始め、貝塚をつくるようになりました。貝塚は、縄文人たちが海から採ってきた貝殻が積み重なってできたもので、市内には55カ所もあります。

考古博物館とあわせて 行ってみよう 堀之内貝塚

「堀之内貝塚」は考古博物館に隣接し、縄文時代後期～晩期、今から約4,000～2,500年前の貝塚です。上から見ると、アルファベットの「U」の字のような形で、長さが200m以上もあります。

どんなものが見つかったの？



堀之内貝塚内では貝殻がまとまって地面に露出しているところもあります。(史跡のため、貝殻などの採取はできません)



左の土器の文様を拡大したもの

戦前に発掘された堀之内式土器(高さ約50cm)



地面に土器を置いて、煮炊きをします



貝殻の他に、堀之内貝塚からたくさん見つかったのは、縄文土器です。特に、朝顔の花のように口が開いた「堀之内式土器」がとても有名です。

土器に入った料理を食べるのは、大変そう。昔からいろいろ試したり失敗したりして、人類は鉄やガラスから電子部品や車まで作りだしてきたけど、それは土器をつくることから始まっていたんだね。



橋本 知甫さん

市内では他にどんなものが見つかったの？

今と同じような髪飾り、耳飾り、首飾り、腕輪などのアクセサリーが見つっていますが、今と違って、動物の骨や貝殻でできています。



山元 更紗さん

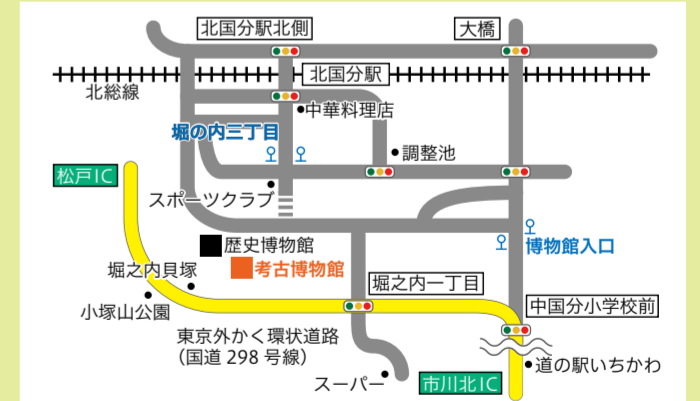
おしゃれをしたいという気持ちやアクセサリーを着ける部分は、今も昔も変わっていないんだね。



髪と耳と腕にアクセサリーを着けた女性。耳たぶに穴を開け、飾りをはめ込みました。

市内で出土した①髪飾り、②③耳飾り、④首飾り、⑤貝製の腕輪。首飾りは持ちどった動物の牙で作り、男性が身に着けました。

考古博物館で古代に触れる



市内の貝塚から発掘された縄文土器や石器、下総国分寺跡から発掘された瓦など、市川の原始・古代の資料を展示しています。近くには、鎌倉時代以降を紹介している歴史博物館があります。

住所=堀之内2-26-1
開館時間=午前9時～午後4時30分
休館日=月曜日、年末年始(12/28～1/4) 入館無料

国指定の史跡

市内には、5つの国指定史跡があります。国指定史跡とは、国が認めた、後世に伝えるべき歴史上または学術上、価値の高い遺跡です。

国家プロジェクトにより建立

1 下総国分寺跡 附北下瓦窯跡 (奈良・平安時代)



宝相華文の瓦

下総国分寺には、高さ60mを超える七重塔があり、そばにある北下瓦窯で焼かれた「宝相華文」という文様の瓦が使われていました。

「尼寺」の文字が出土

2 下総国分尼寺跡 (奈良・平安時代)



裏に「尼寺」と書かれた土器と小壺

国分寺の西側に並んで同じ時期に建てられましたが、七重塔はなく、同じ「宝相華文」の文様の瓦が使われていました。



約3,200年前の縄文土器

約4,500年前の縄文土器

3 堀之内貝塚 右面参照

日本最大級の馬蹄形貝塚

4 曾谷貝塚(縄文時代後期) 今から約4,000～3,000年前

内側がくぼんだドーナツ形の馬蹄形貝塚では日本最大級です。発掘された縄文土器の一部は「曾谷式土器」と呼ばれています。

完全な形の竪穴住居跡を初めて発掘

5 姥山貝塚(縄文時代中期～後期) 今から約5,000～3,000年前

日本で初めて縄文時代の竪穴住居跡が完全な形で発掘され、その写真が教科書にも掲載されて全国的にも有名になりました。